

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

鳥取県県土整備部県土総務課

事業等の名称	(将来の建設産業担い手育成支援事業) とっとり建設業の魅力発信講座
1. 実施時期 平成29年5月27日～平成29年9月30日 2. 実施場所 鳥取県倉吉市内の小学校3校、中学校1校 3. 対象者（参加見込又は参加者数） ○小学5年生 147名 ○中学3年生 111名 4. 共催・単独等の状況 単独 5. 事業等の内容 建設業の仕事の内容、職場環境及び身近な土木施設の歴史等の出前説明やコンクリート製品の製作体験、ドローンの実演飛行などを通じて建設業の魅力を伝え、将来就きたい職業の一つとして認識してもらうための取組 6. 期待される効果（実施結果：効果） アンケートの結果、子供達からは地域の川の歴史や災害などを楽しく理解できたとの回答を得た。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 ○継続的な取組とすること ○事業を県内全域へ展開していくこと 8. その他	

(別添様式 1)

平成 2 9 年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

鳥取県県土整備部県土総務課

事業等の名称	(将来の建設産業担い手育成支援事業) 建設業の魅力発信事業費補助
1. 実施時期 H29 年度 2. 実施場所 鳥取県内 3. 対象者（参加見込又は参加者数） 県民 4. 共催・単独等の状況 単独 5. 事業等の内容 建設業関係団体等が建設産業の魅力発信・人材確保を目的に行う事業について、その経費の 1 / 2（上限 7 5 0 千円 / 件）を補助する。 ＜補助した事業＞ ○中部建設業協会（倉農でのアスファルト舗装施工体験実施（6/15）） ○中部土木施工管理技士会（高校生の現場見学会（11/20）） ○(一社)鳥取県測量設計業協会（郷土づくりシンポジウム開催（10/24）） ○ " （腕章作成（6/9）） ○ " （創立 40 周年新聞掲載（11/15）） ○ " （「測量の日」垂れ幕作成） ○西部建設業協会青年部（幼児建設機械体験（11/10）） 6. 期待される効果（実施結果：効果） 建設業の魅力 P R、建設業への就業意欲促進、建設業のイメージアップ等 * 建設産業の魅力発信・人事確保を目的とした取組について、建設業関係団体や企業のそれぞれの工夫により実施された。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 継続的な取組が必要である。 8. その他	

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

鳥取県県土整備部県土総務課

事業等の名称	(将来の建設産業担い手育成支援事業) どぼくカフェ&土木遺産ツアー
1. 実施時期 平成29年7月29日（土）9:00～14:00 開催（午前：ツアー、午後：カフェ） 2. 実施場所 ＜土木ツアー＞ 気高第2トンネル（鳥取市） ＜どぼくカフェ＞イオンモール鳥取北 3. 対象者（参加見込又は参加者数） ＜土木ツアー＞ 参加者：56名 ＜どぼくカフェ＞ 参加者：140名 4. 共催・単独等の状況 共催：（公社）土木学会中国支部 後援：教育委員会 5. 事業等の内容 ＜土木遺産ツアー＞ 土木遺産や土木施設を巡るバスツアー。一般の方に土木遺産や土木施設に直接ふれていただき、歴史や技術をわかりやすく解説することで、土木の魅力を感じてもらうもの。 ＜どぼくカフェ＞ オープンな場所で、楽しい土木の話題にふれながら、くつろぐことのできる自由、気楽に参加できる交流の場としてカフェを開催。 提供話題：「宇宙戦艦ヤマト2199」の工事を建設会社が受注したら！ 話題提供者：岩坂照之氏（前田建設工業㈱） 6. 期待される効果（実施結果：効果） 土木ツアー、どぼくカフェ共に当初見込んでいた客数を上回る盛況ぶりであり、建設産業の魅力を感じてもらったことにより、子供たちには将来のなりたてい仕事の選択肢の一つとして、将来の担い手の確保に寄与したものとする。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 継続的な取組が必要である。 全県下で実施したため、今後のツアー設定には一工夫が必要。 8. その他	

(別添様式1)

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

鳥取県県土整備部県土総務課

事業等の名称	(将来の建設産業担い手育成支援事業) 高校生インターンシップ研修受入企業支援
1. 実施時期 平成29年9月～10月のうち、鳥取県内土木系学科の高校生がインターンシップ研修を実施する日（各高校3日～5日間で実施） 2. 実施場所 インターンシップ研修を実施する各企業・工事現場 3. 対象者（参加見込又は参加者数） 鳥取県内土木系学科の高校生 48名（昨年47名） 4. 共催・単独等の状況 ○実施 インターンシップ研修受入：鳥取県内土木建設企業・コンサルタント 土木系県職員退職者による技術指導：鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会 ○経費支援：鳥取県単独 5. 事業等の内容 ○高校生のインターンシップ研修（体験学習）を受入れた土木建設企業等へ受入に伴う経費を支援する。 支援額：研修1日あたり9,000円 ○鳥取県土木防災・砂防ボランティア会員（土木系県退職者）による研修を当該インターンシップ研修において実施して研修の充実を図る。 6. 期待される効果（実施結果：効果） 生徒の鳥取県内土木建設業・コンサルタント業への就職意欲向上や、入職後のミスマッチ防止を期待。 7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案 継続的な取組が必要である。 8. その他	

平成29年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

鳥取県県土整備部県土総務課

事業等の名称	(将来の建設産業担い手育成支援事業) 鳥取県建設工事新規入職者トレーナー事業
1. 実施時期	平成29年5月から平成30年1月末日
2. 実施場所	新規入職者を受け入れた各企業の工事現場等
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	45歳未満で工事経験が1年未満の者 ○12月末現在・二社
4. 共催・単独等の状況	単独
5. 事業等の内容	建設業の施工現場への従事体験を希望する者を受け入れ、育成訓練を行う中で当該従事者の適正判断の支援を行う受入企業に対して、必要経費の一部助成を行う。 支援額：体験希望者の2ヶ月分の賃金（上限160千円） トレーナー人件費の一部（30千円/月）＊4ヶ月以内
6. 期待される効果（実施結果：効果）	建設業に興味があっても経験不足から二の足を踏んでいる方に、就業の検討の一つとして選択してもらうことができる。また、訓練を通じて双方で一定の適性判断が可能であり、定職率の向上に期待できる。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	従事体験を希望する者の受入企業を増やす必要があるが、必ずハローワークを通じて雇用しなければ補助対象とならないという誤解があるためか受入企業が増えないため、制度周知の方法を工夫する必要がある。